

JaH 会員発表 (2017 Berlin) 発表要旨

「Moodle を使用した日独メールタンデムプロジェクト」実践報告

－ アーヘン工科大学 言語センター 佐藤ブリューゲル敬子

インターネットが普及し、様々な形態で異文化に触れる機会に恵まれている現今ではあるが、外国語教育における異文化間教育を考えると、教育目標の設定やそれに見合う方法やツールの選択は、今でも難しさが伴う。この「メールタンデムプロジェクト」は、「読み書き」を通して、学習語を母語(或いは教室及び生活の言葉)とする学生との出会いと交流を目的として試みた。異文化間交流の最初の一步という位置付けである。Moodle の使用により、個人間のメール交換のかたちを保ちながら、教師がプロジェクトとして全体を把握し、同時に個人を指導することが可能となった。教育の場における遠距離間交流の一つの可能性を示すものとする。